

平成 30 年度 第 1 回伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

開催日時	平成 30 年 8 月 9 日（木）9：30～12：00
開催場所	伊賀市役所 2 階 第 1 委員会室
出席委員	<p>久 隆浩（近畿大学総合社会学部）</p> <p>岡村 順子（三重県伊賀地域防災総合事務所）</p> <p>姫野 孝宏（京都府山城広域振興局）</p> <p>奥田 詩織（社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会）</p> <p>高本 昌平（南山城村社会福祉協議会）</p> <p>上出 通雄（伊賀市社会教育委員）</p> <p>稲垣 八尺（一般社団法人伊賀上野観光協会）</p> <p>中西 隆夫（一般社団法人観光笠置）</p> <p>奥 伸也（伊賀市消防団）</p> <p>前川 徹（西日本旅客鉄道株式会社大阪支社亀山鉄道部）</p> <p>島井不二雄（島ヶ原地域まちづくり協議会）</p> <p>仲北 悦雄（笠置町推薦委員）</p> <p>大仲 順子（南山城村推薦委員）</p>
欠席委員	
議事日程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ 3. 懇談会委員の紹介 4. 伊賀・山城南定住自立圏構想推進体制について 5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> （1）会長及び副会長の選任について （2）平成 29 年度の事業実績及び平成 30 年度以降の計画について （3）共生ビジョンの変更について 6. その他
議事概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 （事務局） 定刻となりましたので、ただいまから、平成 30 年度第 1 回伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会を始めさせていただきます。 本日第 1 回目ということで会長が選任されるまでの間、進行を務めさせていただきます、伊賀市企画振興部総合政策課の月井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 なお、この懇談会につきましては、原則公開とし、会議の傍聴を認めておりますことから、本日の会議を傍聴される方、報道関係者の撮影等がある場合は、ご理解をお願いしたいと存じます。また、本日の会議録につきましても公開となりますので、ご

了解よろしくお願ひいたします。

それでは、お手元の事項に沿って進めさせていただきます。

2. あいさつ

(事務局)

まず、事務局を預かります伊賀市を代表しまして企画振興部長の宮崎よりご挨拶を申し上げます。

(宮崎企画振興部長)

みなさん、おはようございます。

皆様方には公私何かとお忙しい中、また暑さ厳しい中、ご参集くださいましてありがとうございます。

この懇談会ですけれども、平成 28 年 11 月に設置をされまして、定住自立圏共生ビジョンの策定検討などを中心にお願ひしてまいりました。今まで協議を勤めていただきました第 1 期の委員の皆様方の任期が今年の 3 月末で終了となりましたので、この度再任、新任の方々を合わせまして、今日お集まりの 13 名の委員の皆様方にこの 4 月から委員をお願ひさせていただくということにしたところであります。2 年間の任期となりますけれども、どうぞよろしくお願ひを申し上げます。

さて、新しい委員の方もお見えになりますので、少し定住自立圏に触れさせていただきたいと思ひます。「定住自立圏ってなんだろう」と考えてみますと、それぞれの地域にお住まいの住民のみなさんがそれぞれの地域の生活環境に満足し、安心し、将来にわたってその地域で生活し続けられることだと考えています。

地域には行政が引きました都道府県あるいは市町村といったような壁がございます。しかし、住民の生活にはそんな壁はありません。府県あるいは市町村の壁を越えまして、働きに行ったり、買物に行ったり、そして通院や通学、こういった日常生活の営みが行われているところです。こうした同一の生活圏域にとりましては、行政の壁によりまして、受けられるサービスが異なっていること、例えば近くにある通学に便利な高校に行きたいのだけれども県が異なるので行けない。あるいは近くにある公共施設を使いたいのだけれども市町村が異なるので使用料など条件が厳しい、といったようなことがございます。こうした地域での住民の暮らしやすさの障害となっているようなことを近隣市町村が相互に連携協力して、対応することで圏域全体の住民の暮らしやすさを確保し、人口定住を図る。こういう取り組みが定住自立圏構想ということになってきます。

伊賀・山城南定住自立圏構想は、平成 28 年 6 月に伊賀市、笠置町、南山城村の 3 市町村で、定住自立圏推進協議会を設置しまして、3 市町村の議会の議決を経て、定住自立圏の形成に関する協定書を締結し、圏域形成が図られてきました。そして、当ビジョン懇談会で協議や圏域住民のパブリックコメント等を経て、昨年 6 月に定住自立

圏の将来像やその実現のために必要な具体的取り組みをまとめた共生ビジョンを策定したところです。この共生ビジョンによる取り組みは、総務省をはじめ各省庁の財政支援の根拠となる計画ともされているところです。「水と歴史でつながる圏域」である伊賀市、笠置町、南山城村の暮らしの安心を支え、交流による賑わい創出をめざす取り組みを今後も続けていきたいと考えています。皆様方にはこれらの計画変更、計画推進に係る事項につきまして、ご協議等をお願いすることとなります。長い挨拶となりましたけれども、皆様方のご協力、お力添えをお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

3. 懇談会委員の紹介

(事務局)

それでは、事項の3つ目、懇談会の委員のご紹介をさせていただきます。本日お集まりの皆さんにつきましては、当年4月1日付で新たに懇談会委員に委嘱させていただきました。

前回から引き続きご就任いただいている方もいらっしゃいますが、初めての方もいらっしゃいますので、事務局のほうからご紹介させていただきます。

－ 事務局より委員の紹介 －

2年間どうぞよろしく申し上げます。

それではここで当懇談会の事務局を紹介させていただきます。

－ 事務局職員の紹介 －

どうぞよろしく願いいたします。

それでは、資料の確認をさせていただきます。先日皆様に資料を送付させていただきましたが、本日、皆さんお持ちいただいていますでしょうか。

－ 配布資料の説明（資料一覧） －

過不足等ありませんか。

4. 伊賀・山城南定住自立圏構想推進体制について

(事務局)

それでは、事項の4.伊賀・山城南定住自立圏構想推進体制について、事務局から説明させていただきます。

－ 事務局から説明 －

★資料 1-1 「伊賀・山城南定住自立圏構想推進体制」

★資料 1-2 「伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱」

(事務局)

要綱等の内容につきまして、特にご意見、ご質問等ございますか。

*** 意見なし ***

(事務局)

それでは、次の事項に入らせていただきます前に、本日の会議の成立についてですが、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第6条第2項に基づき、会議は成立しております。

5. 議事

(事務局)

それでは議事に入らせていただきます。

(1) 会長及び副会長の選出について

(事務局)

議事の一つ目、「会長及び副会長の選出について」でございますが、先程の資料1-2「伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱」をご覧ください。

要綱第5条では「懇談会に会長及び副会長を1人置き、会長は委員の互選によって定める」と規定されております。

会長の選出につきまして、いかが取り計らったらよろしいでしょうか。

(委員)

事務局一任

(事務局)

ありがとうございます。皆様、事務局一任でよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(事務局)

それでは事務局からご提案をさせていただきます。
会長に久 隆浩様をご提案させていただきますが、久様よろしいでしょうか。

(久委員)

承りました。

(事務局)

ありがとうございます。委員の皆様もよろしいでしょうか。それでは、ご承認いただけます場合は、拍手でお願いしたいと思います。

— 委員一同、拍手 —

(事務局)

ありがとうございました。それでは 久様どうぞよろしくお願ひいたします。会長の席に移動をお願いします。

— 会長移動 —

(事務局)

それでは、久会長、一言ご挨拶をお願いします。

(会長)

それでは、ご推薦いただきましたので、皆様のご協力をいただきながらこの懇談会を進めてまいりたいと思います。よろしくお願ひします。

自己紹介を兼ねて、少しお話をさせていただきます。私は、元々都市計画や景観の分野で仕事をしておりまして、お隣の名張市ではもう 20 年近く都市計画審議会や景観まちづくりのお手伝いをしてきていますので、この辺りもそういう意味では土地勘はあろうかと思ひます。また、この伊賀でも小学校単位のまちづくり協議会が設立されておりますけれども、最近は地域のまちづくりにおいて、自分の専門外のところもかなり地域の方々と一緒にやっているとひいうこともありまして、奈良県では環境委員会の委員もさせていただいてひいるし、大阪の河内長野市では地域福祉の審議会委員もしてひいます。さらには大阪市では、教育委員もしてひいますので、おそらく今日テーマになりますほぼすべての分野でひろんな形でお手伝いをさせていただいてひいますので、そういう意味では大学の教員の中では、全般的にターゲットを当てて仕事をさせていただいてひいるのが私の特徴かなと思ひます。

もう一つ、宮崎部長のご挨拶の中にもありましたけれども、三重県それから京都府というのひは、行政が勝手に線を引いたわけひ、住民の生活から見ますとそういう県域

を越えて、生活が成り立っているというのは私も痛感しています。具体的には大阪府の一番南にある岬町で仕事をさせていただいているときに、いつも地図を描けば大阪府の地図を書いてしまいますので、岬町が一番南の端っこに見えるのですが、生活圏域とするとお隣の和歌山市の様々な施設を岬町の方はお使いいただいていますので、岬町の総合計画を策定するときも岬町を中心に和歌山市も含めた地図を描いたら、決して岬町は端っこではないですよという話をさせていただいて、実際に岬町の総合計画の地図は、岬町を中心に書いていただいたということもございますので、そういう意味では定住自立圏共生ビジョンの観点を皆様一人ひとりの生活が中心になってそこからどういうふうに市町村が支えていけるのか、県・府が支えていけるのか、もう一度見直していただければありがたいなと思います。よろしくお願ひします。

(事務局)

続きまして、副会長の選任ですが、要綱第5条では「副会長は会長が指名する委員をもって充てる」と規定されています。久会長、ご指名をお願いいたします。

(会長)

それでは、私の方から副会長に仲北悦雄委員をご指名させていただきます。よろしくお願ひします。

(事務局)

ありがとうございます。仲北様どうぞよろしくお願ひいたします。副会長のお席の方へご移動願ひします。

— 副会長移動 —

(事務局)

それでは、仲北副会長にご挨拶をお願いします。

(副会長)

ただいま会長の方からご指名いただきました仲北でございます。私は発足の平成28年から今回再任され、笠置町の推薦ということで委員に加えさせていただきました。これから会長の会議の進行の手助けになればと思っていますので、皆さんどうぞよろしくお願ひします。

(事務局)

ありがとうございます。

それでは当懇談会の要綱第6条第1項により、「会長が会議の議長となる」とありま

すので、以後は会長により議事進行をお願いいたします。

(2) 平成29年度の事業実績及び平成30年度以降の計画について
(会長)

それでは私の方で引継ぎまして、進行させていただきたいと思います。それでは(1)が終了しましたので、(2)平成29年度の事業実績及び平成30年度以降の計画について、各部会より報告させていただきたいと思いますが、その前に、様式について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

事業計画・実績表の説明の前に、事務局から1点報告させていただきます。

以前より委員の皆さまからもご意見のありました、笠置町の協定項目の追加について、伊賀市と笠置町で「定住自立圏の形成に関する協定書の一部変更にかかる提案」を6月議会に上程し、可決され、6月25日付で変更協定に調印しましたことを報告させていただきます。

これにより伊賀市と笠置町は、すべての項目について協定しましたので、今後は3市町村でさらに連携し、事業に取り組んでまいります。今から報告させていただく事業計画・実績表についても追加の協定内容を踏まえて記載していますのでご了承ください。

— 事務局から説明 —

★資料2-1「事業計画・実績表」

★資料2-2「施策KPI一覧表」

(会長)

それでは、事務局から説明いただいた様式で、各部会から実績表を作成いただいておりますので、引き続き、部会ごとに報告をお願いします。

なお、ご意見・ご質問等については、すべての部会の報告が終わった後でまとめてさせていただきますのでお願いします。

それでは、まず「医療・福祉部会」からお願いします。

★資料2-1「事業計画・実績表」

(医療・福祉部会→教育部会→産業振興部会→環境部会→防災部会→交通・情報部会→インフラ部会→交流部会→人材育成部会)

(会長)

ありがとうございます。時間的にかなり押していますが、ここで小休憩を取らせて

いただこうと思います。それでは 11 時 25 分まで休憩とさせていただきますのでよろしくをお願いします。

－ 休憩 －

－ 会議再開 11：25 －

(会長)

それでは、再開をさせていただきます。時間もかなり押していますが、先ほどのご報告に関しまして、ご質問・ご意見を出していただければと思います。できましたらページ数と事業ナンバーをおっしゃっていただきますと、資料が見やすいと思いますので、どのカテゴリーでも結構です。何かございますか。

(委員)

4点質問があるのですが、まず一点目、事務局に質問です。29年度の報告書を委員として見せていただいているのですが、3市町村（住民）に対する報告の方法について教えてください。

二点目です。医療・福祉部会についてですが、報告の中で「情報提供」と、言ってくさっていましたが、どちらかというと笠置町、南山城村にお尋ねしたいのですけれども、どういった啓発方法を地域住民の方にされているのか。ダイヤル24のチラシを私も村民として見せていただいたのですが、他の周知については、広報等では確認できなかったかなと思うので教えてください。

三点目、生涯学習事業No.1331、P16です。「①相互で実施事業のPRを行う」というところに「伊賀市で実施した事業に連携町村から参加があった」ということなんです。逆に連携町村が実施した講座には伊賀市からの参加者はあったのかということも共生ビジョンの点から教えていただきたいと思います。

四点目です。交通情報部会に対してです。事業No.2211のところですか。こちらは笠置町と南山城村は、どうしても和東町と同じ広報誌になるため、定住自立圏共生ビジョンについての情報を書くのが難しい部分があるのかと思います。ですので、3市町村で定住自立圏域に関するチラシ又は広報誌を独自に発行することは年に2回程度可能でしょうか。それをする事でより情報を共有する仕組みができるのではないかと思います。以上4つの質問でした。

(会長)

ありがとうございます。それではお答えいただければと思います。いかがでしょうか？

(事務局)

事務局から、この実績表の公表についてお答えさせていただきます。この実績表につきましては、懇談会の資料としてお示しさせていただいておりますので、特に公表はないのですが、この懇談会は公開となっておりますので今回の会議資料ということでホームページには載せさせていただきます。

(医療・福祉部会長)

ダイヤル24の周知方法ですが、笠置町、南山城村で広報「れんけい」というのを出版していただいているかと思いますが、そちらの7月1日号に掲載をされていると聞かせていただいています。

(委員)

ダイヤル24以外の分についての周知方法を尋ねたかったのですが・・・

(医療・福祉部会長)

ちょっとそのあたりについては、具体的に聞かせていただいておりますので一度それぞれの町村の担当の方に確認させていただきたいと考えています。申し訳ございません。

(教育部会副部会長)

生涯学習の部分でのご質問をいただきました。連携町村の中で、伊賀市で実施した講座には参加があったというふうに聞いていますが、連携町村の開催講座に伊賀市から参加があったかどうかについては、確認できておらず、現在手持ちの資料がありませんので、また改めて報告させていただこうと思います。

(交通情報部会長)

広報誌についてのご質問をいただきました。南山城村、笠置町については広報「れんけい」ということで広域連合として広報されているということで、昨年度はなかなかここに定住自立圏の記事を載せることがすぐにはできませんでしたので、とりあえずホームページに定住自立圏のバナーを作り、ホームページ上では情報共有をさせていただいています。今年度については、笠置町、南山城村にお話をさせていただいて、広域連合の広報誌に（定住自立圏の）紙面を取っていただけることになりました。まずそちらに簡単な部分から、例えば代表する市町村のイベント等の記事を伊賀市と広域連合の広報誌に掲載していただくような形で現在進めさせていただいているところです。今のところ別立てでそれに特化した広報誌にというのは、予算の関係もありますので予定はしていない状況です。

(会長)

よろしいでしょうか。他いかがでしょうか。

それではまとめを兼ねて、私のほうからもう5点ほどお話をさせていただければと思うのですけれども。

まず一つ目の話ですけれども、今回新しい形で様式を作り直していただいて、見せていただき非常に良くわかるようにはなりました。これを自己点検評価として毎年やっていただくことによってEからDへ、そしてBからAへというようなステップアップをそれぞれの担当課が考えていただくというような機会にさせていただければ、それだけでも相当の効果があるのかなと思っています。

大学も毎年評価をしているのですが、私も評価を書く側の立場で、昨晚書いていましたが、一昨年に「これやります」と書いてあることを去年はやっていない項目がやっぱり出てくる。やはりそういうところで反省して、今年度さらにがんばっていこうという気にもさせてくれますので、そういう毎年毎年の評価を繰り返していくことによって各事業の質も上がってくるのかなと期待をしています。

二点目は、定住自立圏構想ですので各市町村が単独で行っている事業ではなくて、連携で行うことによる効果測定を行うというのが今回非常に重要なこと。そうなってくると単独ではなくて、連携をしたことによる効果というものをもっと前面に出していただければ、よりわかりやすくなるのかなと思っています、そのときにこれが先ほどのご質問に係るんですけれども、どうもうまく住民の方々へ各事業の周知が行き渡っていないのかなという部分があります。そのためには、事業を企画運営されている市町村から連携市町村へどういう形で情報が上手くリアルタイムで流れていくのか。さらにその情報が住民の方々へどういように流れていくのかというようなルートを再度しっかりと構築していただくことによって、その辺りが上手く回っていくのではないかと期待をしております。

ひとつどうなっているのかなと思うところで「にんにんパーク事業」を南山城村のホームページで取り上げているかどうかというのを見たのですが、取り上げていない。南山城村、笠置町のそれぞれ単独の子育て支援事業を行っているのだから、その事業に伊賀市の事業も紹介をしていただくと、住民にとってはホームページ見れば伊賀市の事業も横並びで見られるようになっていくわけですね。

定住自立圏構想のビジョンの周知はされていると思うのですが、ストレートに言わせていただくと住民にとっては定住自立圏共生ビジョンがどうであっても関係ないんですよ。それぞれの事業で自分のサービスがいかに質の向上が図れるかというところが重要なので、そちらももっときちんと連携が取れるようにしていただきたい。そして、一つの事業で伊賀市の事業も受けられるんだとか、南山城村の事業も受けられるんだというように思えば、他の事業もあるかもしれないというように探すきっかけにもできるわけです。だからビジョンの周知よりも各事業で他の連携市町村の事業もきちんと受けられるんですよという事から広めていただければ、そういう連携ももつ

ともしっかりあってもいいのかなと思いました。

三点目は、その延長上の話ですが、特に観光ではより広域の方々へこの3市町村の情報をパッケージにしていかに届けられるのかというところが重要かと思うのですが、この辺りはまだ、てこ入れすることができるのではないかなという気がしましたので、そこもより広域の方に対してどのようにパッケージとして情報を流せるかというところも今年度以降重点化をしていただければと思います。私事になりますが、茨木市に住んでいますが、例えば南山城村も行ったことがありますし、笠置町も行ったことがあります。私はこの辺りの地理を知っているので、もう少し走れば伊賀に行けるといえるのがわかるのですが、おそらく大阪の人間というのは、南山城村、笠置町に行ってそこでおしまいだと思うんですよ。もう少し走れば伊賀に来られるとか、逆に伊賀に来たついでに南山城村や笠置町に足が伸ばせるという情報をいかに上手く広域住民に流せるかということでパッケージの効果というのが非常に出てくると思います。せっかく様々な資源をお持ちですので、パッケージとしてどうやって流していけるのかということをやっていただくと、相互連携でいわゆる交流人口がかなり増えていくのではないかと期待しているところです。

四点目ですけれども、広域事業組合でやっている事業は、この3市町村プラスαの町が入ってくる場合が多いですね。これをどうするかということですね。一番手っ取り早いのは、事業組合で行っている事業はその事業組合の単位も含めて、もう少し広域的に連携をしていく方がいいのではないかと考えていて、3市町村にとらわれずに、特に組合事業で、すでにより広域で連携をすでにやっているところはその連携市町村まで含めてどのように広域連携をとれるかという観点があってもいいのかなと思いました。

最後、細かい話になりますが、今回初めてこの評価の様式で書いていただいたのですが、どうも上手く書ききれていないのが多いのは、評価コメントの「改善すべき点」です。ここは書きすぎているところが多いですね。書きすぎているというのはどういうことかということ、改善すべき点なので、「○○が出来ていません」とか「○○が課題で残っています」で止めていただいたほうがいいです。しかしながらアクションの部分はコメントで「連携を図ります」とか「○○を行います」というところまで踏み込んでしまっているが故に、次のアクションと書き分けが非常に難しくなっている事業項目も少なくないですね。だから次回やっていただくときは、「改善すべき点」というのは、改善すべき点で止めていただいておりますので、それをどうするかというところをアクションで書いていただいた方が、書き分けがスムーズにいくのではないかと思います。当然のことですけれども、そのアクションに書かれている部分が次の年のプランになっているはずですので、こういうようなPDCAが上手くシートの中で回っていけば我々にもよりわかりやすい評価ができるのかなと期待していますので、次回以降、そのあたりの書き分けを上手くやっていただければありがたいなと思っています。以上でございますので、今日コメントさせていただいたことも含めて、事業計画に取り

組んでいただき、より良いものにしていただけたらと思います。

(委員)

細かいことで申し訳ないのですが、事業No.1621 とNo.1622 ですが、今回様式を見直してもらって事業の成果目標を入れていただいて、わかりやすくいいなと思うのですが、No.1621 とNo.1622 に関しては、全く同じになっていまして、これならば同じ事業にしてしまうか、書き分けられるのであれば書き分けるというようなことをしていただいたほうがいいのかと思うのと、それから「D」をつけているものがいくつかあるのですけど、なぜ「D」なのかちょっとわからなくて。説明だけ聞くと事業実施に向けて取組んでいるということですが、ちょっとわかりにくい面もあるなと思います。回答はよろしいですけれど。

(会長)

また、今年度の評価をするときに上手く書いていただければと思います。他いかがでしょうか。

(委員)

この資料ですが、引き続き委員をさせていただいているのですが、大変よくわかるようになりまして、わかればわかるほど「ちょっとこれどうかな」と思うところもできてきました。やはり同じように同じ部会の中に重複するようなテーマがいくつか見えてきたのと、違う部会同士で接点のあるものが出てきたので、その事業のポジションがもう少しわかれば、わかりやすいかなというのが一つありました。例えば、私は観光ですけれども、道の駅の使い方とか、ブランド化の推進事業であるとか誘客事業であるとか、もう少し一つにまとまるかなと思ったのですけどね。これは国へ出すために載っている事業なので今更一緒にならないのしょうけど。それから観光ですが、それぞれのエリアの持ち寄り一つ構成されているのですけれど、そのパッケージの名称がここで言うと「伊賀・山城南」なんですけれど、事務的で。パッケージ名がほしいな。伊賀と山城南をぱっと一言で表現するようなルート名とか、「伊賀・山城南」と言っていると、なんだかわかりにくいところがあるので、もう少し親しみやすいパッケージ名があったらいいなと思いました。以上です。

(会長)

ありがとうございます。後者の方はまた担当課で知恵を絞っていただいてわかりやすいネーミングを付けていただければと思います。

前者のほうは私も同じ意見で、例えば、具体的に一つ気がついたのが、講座をやっているのだけれども結局足の便が悪いので講座に行けません、という事業項目がいくつかありましたよね。そうするとやはり公共交通とこのような講座事業が組み合わせ

っていかないと上手くいかないということが見えてきました。先ほどの委員のお話を次回の実績表で受けるとすれば、一つ連携する事業という欄を作っていただいて、「ここ関係していますよ」と、お互いがお互いを意識し合えるきっかけになると思いますので、関連あるいは連携する事業名というのを入るところは入れていただくというのも一つかなと思いました。あと、いかがでしょうか。それでは、また今年度、より事業をやっていただくことをご期待しています。

(3) 共生ビジョンの変更について

(会長)

続きまして(3) 共生ビジョンの変更について、事務局より説明をお願いします。

－ 事務局より説明 －

★資料 3-1 「ビジョンの主な変更点について」

★資料 3-2 「協定項目一覧表」

★資料 3-3 「今後のスケジュール」

(会長)

何かご質問・ご意見等ありますでしょうか。

*** 意見なし ***

(会長)

それでは特にご意見等もないようですので、このビジョン改定(案)を推進協議会に上げさせていただきます。

予定しておりました案件すべて終了させていただきますけれど、皆さんから何かございますか。

*** 意見なし ***

(久会長)

それではこれで議事を終了させていただきます。ありがとうございました。あと事務局へ進行を戻しますのでよろしくをお願いします。

(事務局)

会長様、ありがとうございました。

それでは、最後に6. その他に入らせていただきます。

議事以外の部分で、会議全体を通して委員の皆様から、何かご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

それでは事務局から事務連絡をさせていただきます。

－ 事務局より事務連絡 －

(事務局)

それでは本日長時間にわたりご議論いただきありがとうございました。委員の皆様には、本懇談会へご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げまして、本日の会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

－ 12 : 00 終了 －